

# 山県市中央図書館

## 人権図書コーナーの本が 7年間で325冊になりました！！

岐阜人権擁護委員協議会岐山部会山県市委員会

岐山部会山県市委員会では、人権教育・啓発活動の一環として平成30年から山県市中央図書館と連携し、人権教育に関する図書を購入して寄贈してきました。

これまでの7年間で寄贈した図書は325冊となり、図書館に設置していただいた「人権図書コーナー」には、これらの本が所狭しと並んでいます。

令和6年度は、幼児用や低学年向けの絵本、高学年から中学生、大人向けの本と、いろいろなジャンルの中から本を選び、54冊の図書を購入して寄贈しました。



いろんな本がたくさん  
おいてあるよ。  
僕も読んでみたいなあ。



人権イメージキャラクター  
人KENまる君

★令和6年度に購入した図書の一部を紹介します。

どの本を  
読もうかな



人権イメージキャラクター  
人KENあゆみちゃん

読書

●絵本 ■コミック

<p>●水がすきじゃなかったアヒル</p>	<p><b>スティーブ・スモール 絵文</b> 水がすきじゃないアヒルと水の好きなカエル。好きなこと苦手なことが違っても、とつても仲良し。それってとつても素敵なこと。「仲良し」の本当の意味をやさしく楽しく語りかけます。</p>
<p>●ひとりじめ</p>	<p><b>本間正樹 文 いもとようこ 絵</b> ひとりじめして友達を困らせるこぐまくん。でも、ある日気づきます。「ひとりじめしても楽しくないなあ。」どうすれば皆と仲良く遊べるのかを考える絵本。</p>
<p>●ごめんなさい</p>	<p><b>いもとようこ 作 絵</b> にゃんたくんは遊んでいて、おじいちゃんの植木鉢を壊してしまいました。勇気を出して「ごめんなさい」と言えるかな。</p>
<p>●そのままがいいんだよ</p>	<p><b>ロジャー・ハーグリーブス作</b> 他の人と比べてしまう事って誰にもある。自分に自信を持つことも、自分らしくいることも簡単じゃない時もあるけれど、いつだってもっと自分らしくいていいんだ！と思える勇気をもたらえる自己肯定感を育てる絵本。</p>
<p>●やさしいってなあに</p>	<p><b>ロジャー・ハーグリーブス作</b> けちんぼなミスターミーンは、人に優しくすることを知りません。でも、お手伝いをしたりお使いをしたり…そんな小さな親切が笑顔や小さな幸せをひきよせる、そう思わせてくれる絵本。</p>
<p>●挫折しそうなときは左折しよう</p>	<p><b>マーク・コラジョバンニ著</b> 「何をやってもうまくいかない。なんでかさっぱりわからない」そんな時どうする？時には思い切っていつもと真逆のことをしてみると…。ちょっぴり哲学する絵本。よくある悩みとのつきあい方をユーモラスに提案する。</p>
<p>●ゴルディのお人形</p>	<p><b>M・Bゴフスタイン著</b> 自分が信じるすばらしい何かを作り出すために黙々と働く人の美しさと尊さを表現している。絵本という形ですが、大人にこそ読んでほしい。自分が信じるものを見失いそうになる時にそっと励ましてくれる一冊です。</p>
<p>●だれのせい</p>	<p><b>ダビデ・カ、ヴィーナ・ルクトゥーンベル著</b> 自慢の剣でどんなものでも真っ二つにしてしまうクマが、ある日突然家を壊された。「だれのせい」なのかと犯人捜しを始めます。そして自らが原因だったと知ったとき、クマがとった行動は…。</p>
<p>●おこりたくなるのはどんなとき？</p>	<p><b>ロジャー・ハーグリーブス作</b> 思った通りに行かない時、お腹が空いてる時、イライラしちゃったらどうしたらいいか分からなくなるのって誰にでもある。皆に読んでもらいたいアンガーマネージメントの絵本。</p>

●ともだちってなあに？	ロジャー・ハーグリーブス作 「みんなちがってたのしいね」をテーマに子どもたちの自己肯定感、忍耐力、多様性を尊重する心を育てる絵本。
●わけあうってたのしいね	ロジャー・ハーグリーブス作 遊びやお菓子を友だちと分け合い、時に難しさを感じながらも他者を思いやる心を育む物語。
●あいてのきもちをたいせつに	ロジャー・ハーグリーブス作 友だちが困っている時、元気がなさそうな時、どんなことがしてあげられるでしょう。温かい気持ちは皆に伝わって、しみ込んでいく。思いやりの大切さが学べる絵本。
●かなしくなったときは	ロジャー・ハーグリーブス作 心配な事があったり、悲しい事があったりした時、いろんなものを見たり誰かと話をしたりして悲しい気持ちを和らげる知恵を教えてくれる絵本。
●しんぱいするのはあたりまえ	ロジャー・ハーグリーブス作 誰だって不安になるし心配することはある。そんな時どうしたら気が紛れるのでしょうか。悩んでいた気持ちが落ち着く絵本。
●いろいろ いろんなかぞくのほん	アリ・ホフマン文 ロス・アスカイス絵 世界中にはいろんな家族がある。一人親、祖父母と子どもたちだけ、大家族、LGBTQの家族、ペットも家族に含める。住む場所も仕事も、家族の楽しみも色々、どこのページを開けてもいろんな家族や暮らし方が発見できる。楽しいイラストを見ながら人類の多様性が分かる絵本。
●障害があってもいっしょだよ！ 6巻セット	マリ・シュー文 イザベル・ニコス絵 障害がある子はどんな毎日を過ごしているの？皆と違うところもあるけれど、同じところもたくさん。当事者の子ども自身の語りで、低学年からやさしくよめる障害理解の絵本。
■リエゾン こどものこころ診療所 16-19巻	ヨン・チャン、竹村優作著 現代日本の痛みを描く医療漫画の新機軸。この児童精神科医は発達障害を凸凹と呼ぶ。あなたの凸凹にハマる生き方が必ずある。子ども10人に1人は何らかの障害を抱えているとされる現代の学校や家庭でトラブルを抱え孤独や苦痛に耐えながら生きる人たちと向き合い続ける。

山県市中央図書館には、上記以外にも、心が温まる素敵なお話の本がたくさん置いてあります。

図書館に足を運んで、本との素敵な出会いを楽しんでみませんか？